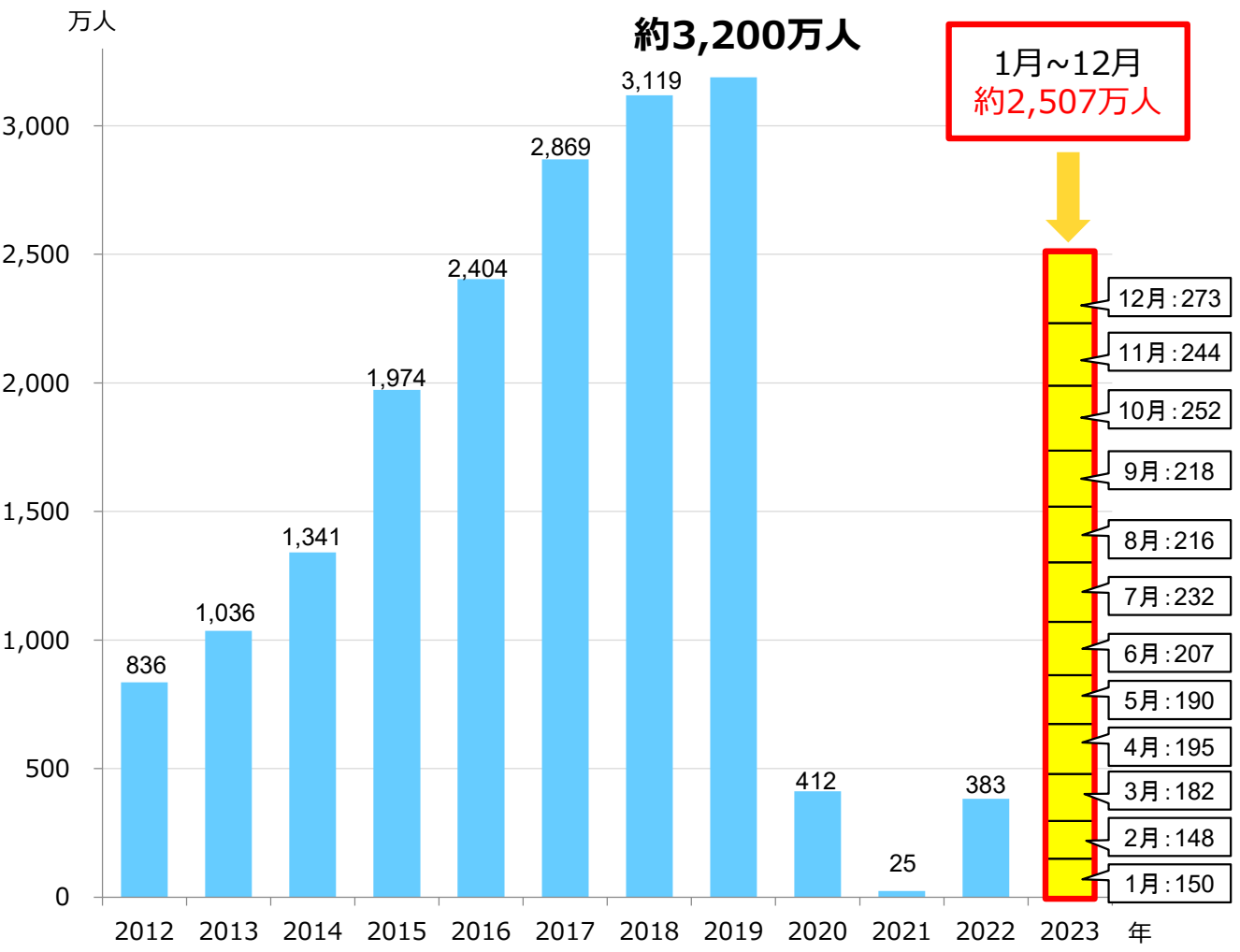


インバウンドの状況(旅行者数)

- 2019年まで飛躍的に増加も、新型コロナの影響により、2020年以降、大幅な落ち込み
- 2022年10月の水際措置の緩和以降、堅調に増加の傾向
- 2023年の訪日外国人旅行者数は約2,507万人と、**コロナ前と比べ79%の回復** (中国を除くと**102%の回復**)
- 同年12月の訪日外国人旅行者数は約273万人と、**コロナ前と比べ108%の回復**(中国を除くと**133%の回復**)となり、3ヶ月連続で単月では コロナ前の水準を回復

訪日外国人旅行者数の推移



国・地域別訪日者数上位 (2023年12月)

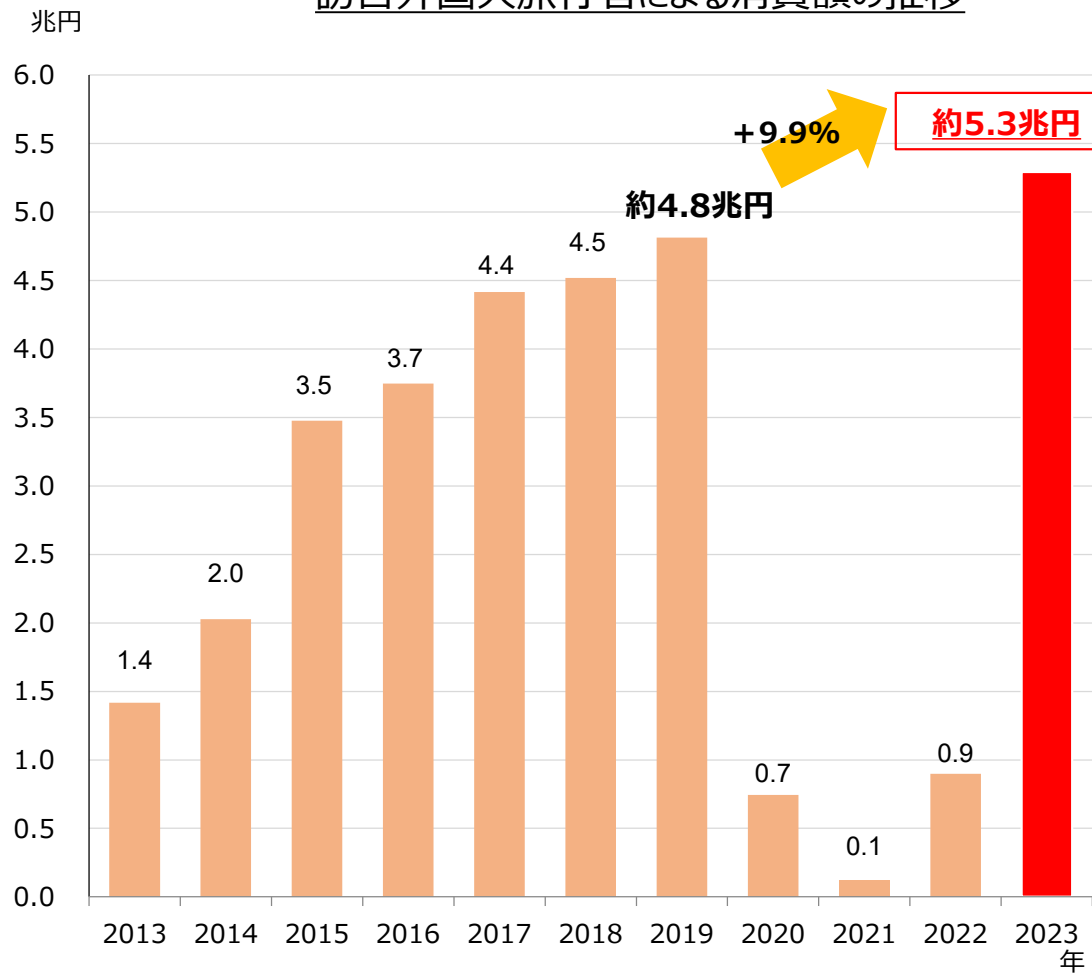
| | |
|-----|------|
| ①韓国 | 78万人 |
| ②台湾 | 40万人 |
| ③中国 | 31万人 |
| ④香港 | 25万人 |
| ⑤米国 | 18万人 |

出典：日本政府観光局 (JNTO)
 ※ 2022年以前は確定値、2023年1月～10月の値は暫定値、2023年11月～12月の値は推計値

インバウンドの回復状況(消費額)

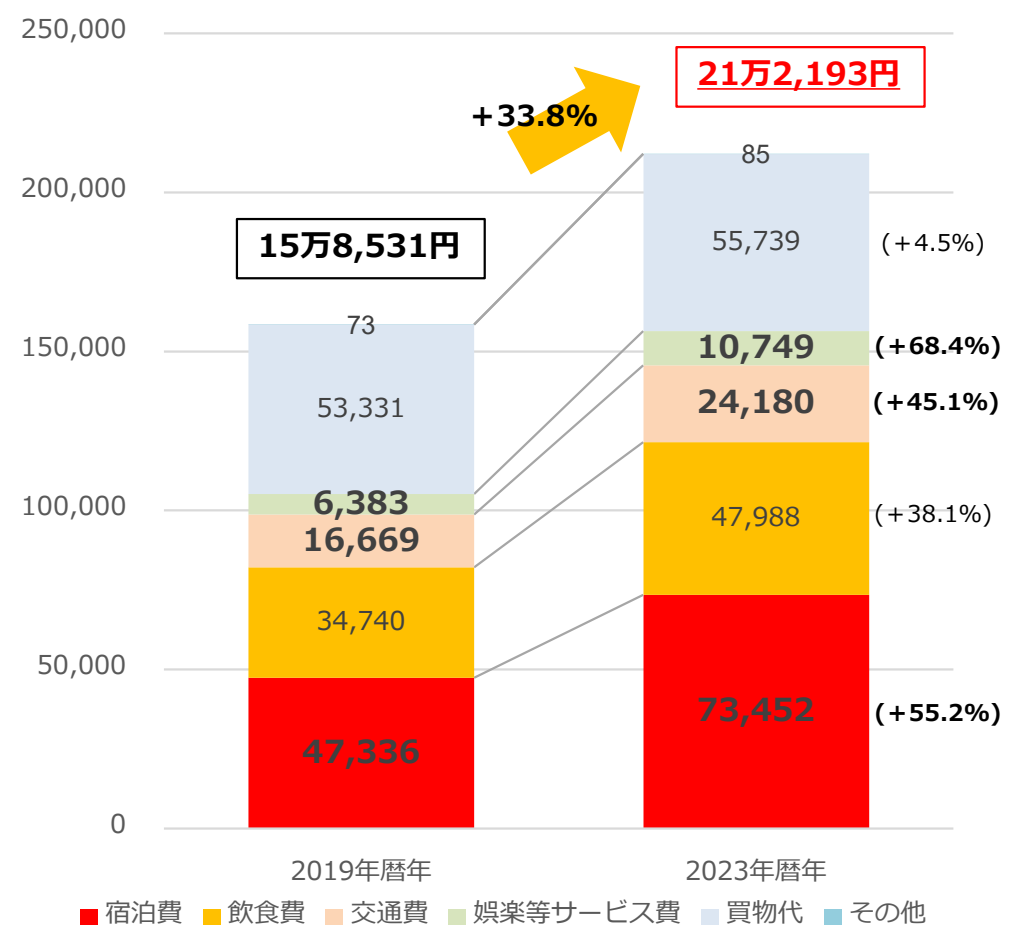
- 2023年の訪日外国人消費額は、**5.3兆円と過去最高**。(2019年は4.8兆円。2019年比9.9%増)
- 費目別にみると、**娯楽等サービス費、宿泊費、交通費等**が上昇。
- 訪日外国人(一般客) **一人当たりの旅行支出は、21万2千円**(2019年比33.8%増)
- ※平均泊数が伸びたこと(8.8泊→10.2泊)や円安・物価上昇の影響等が考えられる。

訪日外国人旅行者による消費額の推移



出典：「訪日外国人消費動向調査」より算出

費目別 1人1回当たり旅行消費単価

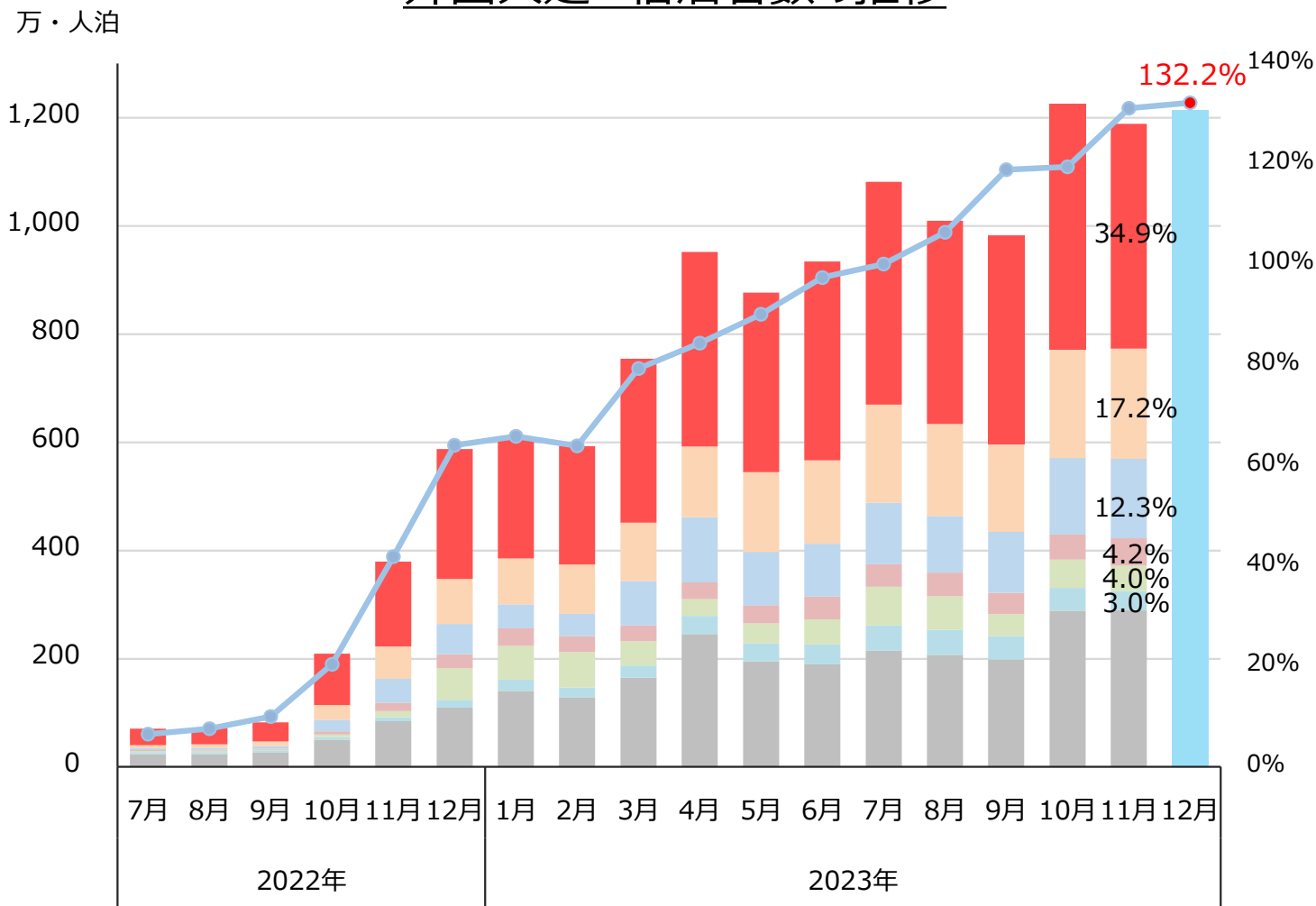


※2023年暦年は1次速報値。

インバウンドの状況(延べ宿泊者数)

- 2023年12月の外国人延べ宿泊者数は**1,214万人泊**で、**コロナ前以上に回復**（2019年同月比132.2%）
- 他方、観光需要の回復状況は**宿泊先地域によって偏在傾向**が見られ、**三大都市圏のみで7割超**（72.4%）

外国人延べ宿泊者数の推移



都道府県別外国人延べ宿泊者数 (2023年11月)

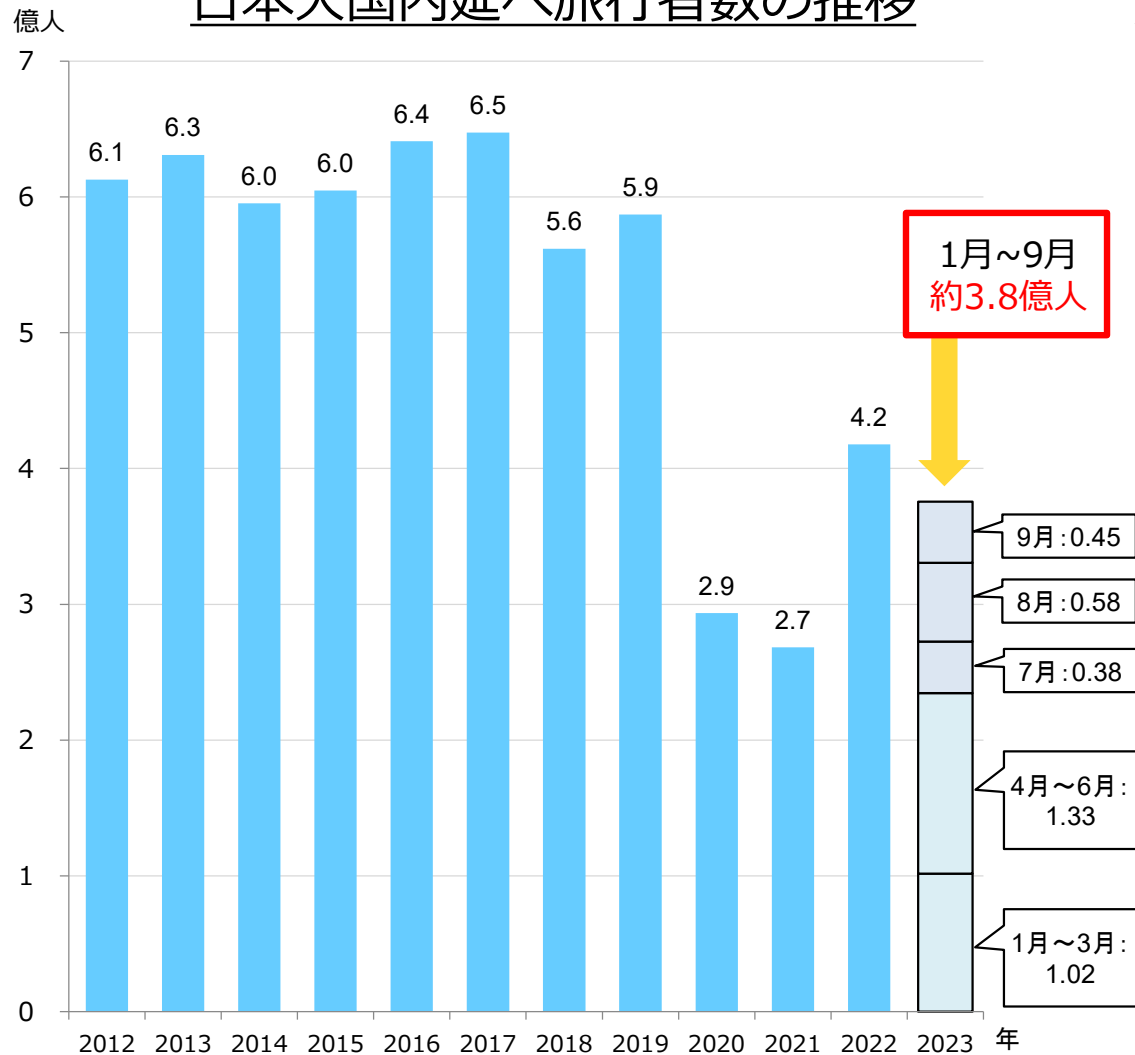
| 三大都市圏※ トップ5 | | |
|-------------|-------|-----------|
| | シェア | 延べ宿泊者数 |
| 東京都 | 34.9% | 415.2 万人泊 |
| 大阪府 | 17.2% | 204.1 万人泊 |
| 京都府 | 12.3% | 146.6 万人泊 |
| 神奈川県 | 2.4% | 28.9 万人泊 |
| 千葉県 | 2.3% | 28.3 万人泊 |
| 地方部 トップ5 | | |
| | シェア | 延べ宿泊者数 |
| 福岡県 | 4.2% | 50.4 万人泊 |
| 北海道 | 4.0% | 47.3 万人泊 |
| 沖縄県 | 3.0% | 35.5 万人泊 |
| 山梨県 | 1.4% | 16.7 万人泊 |
| 大分県 | 1.3% | 15.8 万人泊 |

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

※ 埼玉県・千葉県・神奈川県、東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県

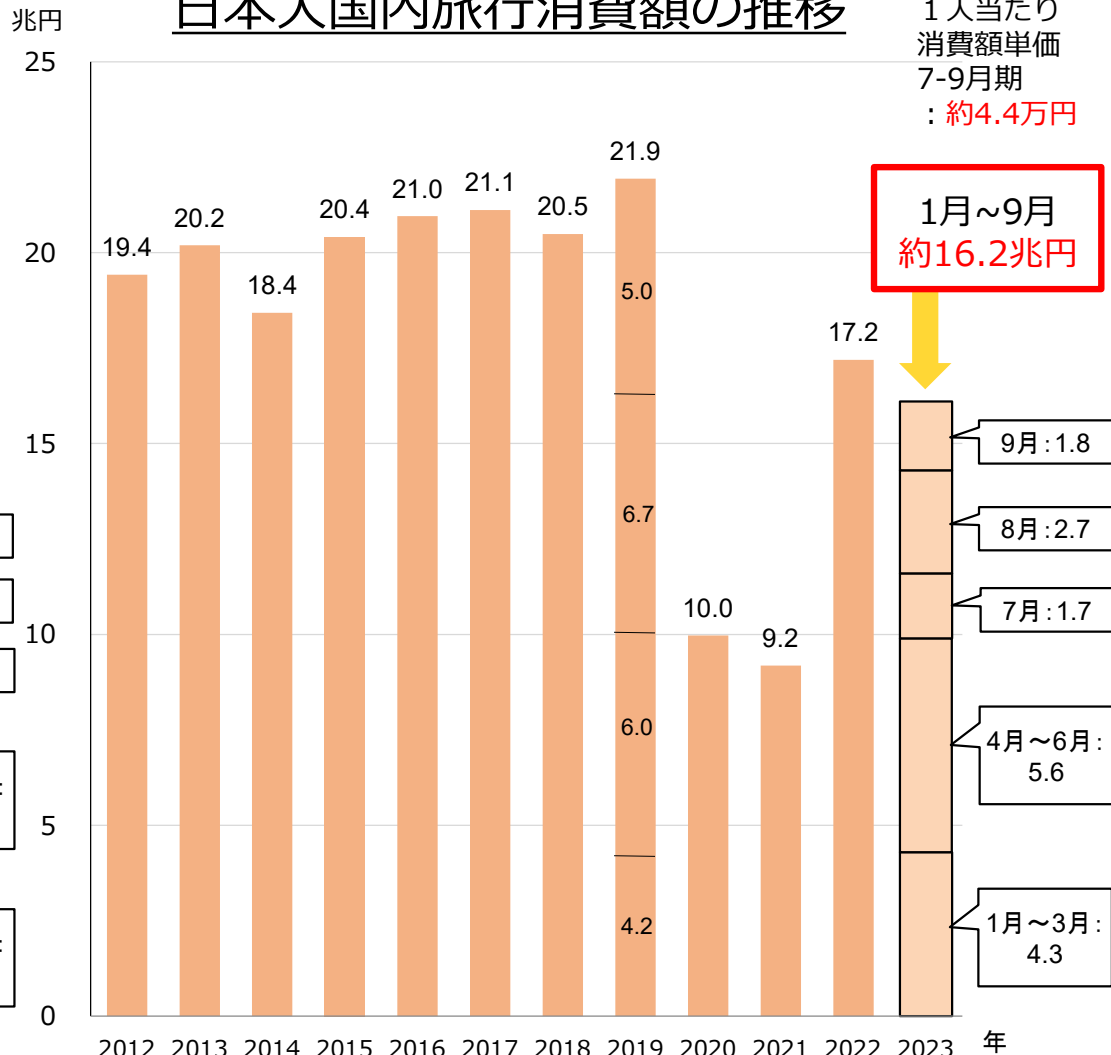
- 国内の旅行者数・消費額は横ばいで推移しており、今後も人口減少の影響を受ける
- 2023年1-9月期の国内旅行消費額は、2019年同期比の約96%まで回復
- 2023年7-9月期の国内旅行者一人当たりの旅行支出は、2019年同期比で約12%増

日本人国内延べ旅行者数の推移



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」
※2023年7月～9月の値は速報値

日本人国内旅行消費額の推移



出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」
※2023年7月～9月の値は速報値